



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

嘉手納町 教育委員会だより

令和7年2月発行 嘉手納町教育委員会

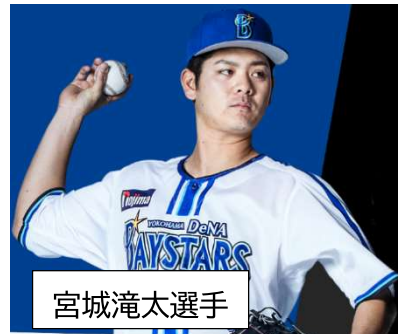


横浜DeNAベイスターズ歓迎・感謝の夕べ

2月7日、宜野湾海浜公園内で春季キャンプ入りしたプロ野球横浜 DeNA ベイスターズを迎える「歓迎・感謝の夕べ」が、宜野湾市のラグナガーデンホテルでありました。歓迎・感謝の夕べでは、選手を激励し、横浜 DeNA ベイスターズの春季キャンプの成功とその年のリーグ優勝を願いました。

レセプションではファンと選手の交流会が行われ、球団関連のグッズが当たるお楽しみ抽選会などを通して、選手と間近で触れ合うことができました。嘉手納中学校出身の宮城滝太選手も姿を見せ、その引き締まった表情から、今年一年にかける思いを強く感じ取ることができました。宮城選手の活今年の活躍を期待したいと思います。

※嘉手納野球場は、現在建替工事中で利用できませんが、それ以前は、2軍選手がキャンプを行っていました。それがご縁で当日は、球団（選手会）から金一封と野球ボールの寄贈がありました。



令和6年度沖縄県伝統芸能公演 組踊「孝行の巻」

2月16日、重要無形文化財保持者等公演「嘉手納町公演」がかでな文化センターにて行われました。沖縄県伝統芸能公演（重要無形文化財保持者等公演）は、重要無形文化財保持者を中心に、格調高い伝統芸能を鑑賞する機会を提供することを目的として行われています。

第一部は、古典舞踊を三題（「若衆こてい節」「天川」「高平良万歳」）が披露されました。

第二部は、玉城朝薫作、組踊五番の一つで、親を思う子どもの「孝行心」を描いた作品、「孝行の巻」を字幕付きで鑑賞しました。「孝行の巻」は、嘉手納町に伝わる「屋良漏池（ムルチ）の伝説」に由来しており、大蛇の登場や観音の降臨など他の組踊ではみられない仕掛けも見どころ満載でした。

また、関連イベントとして、2月9日にかでな未来館において、町内の小中学生を対象とした組踊ワークショップ「組踊についてみんなで学ぼう！」も開催されました。



リーディングDXスクール事業実践報告会 この1年間を振り返って

2月20日、リーディングDXスクール事業の公開授業及び実践報告会を行いました。本町では、この1年間、GIGAスクール構想で整備された、1人1台端末や汎用的なソフトウェアとクラウド環境を徹底的に活用し、情報活用能力の育成を図りつつ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や校務DXを推進してまいりました。公開授業や実践報告会では、屋良小学校、嘉手納小学校、嘉手納中学校の実践を紹介し、信州大学教育学部の佐藤和紀准教授から指導助言を賜り、今後の実践研究の方向性を確認しました。今回の公開授業及び実践報告会には、県内全市町村から300余の申し込み参加がありました。



嘉手納町・大山町児童交流事業 スキー、みんな楽しく滑れたよ！

今年 34 回目を迎えた鳥取県大山町との児童交流事業で、嘉手納町の児童 15 人が 1 月 30 日～2 月 2 日、大山町に派遣されました。大山町の児童宅での民泊を通し、生まれ育った嘉手納町と異なる風土や生活文化、気候を体験。楽しみにしていたスキーでは、現地の人から指導を受け、うまく滑れるようになりました。



嘉手納外語塾卒業式 卒業おめでとう！

2月28日、かでな文化センターにて、嘉手納町立嘉手納外語塾第26回卒業式と海外短期留学研修報告会が盛大に執り行われました。

今年の卒業式は「沖縄と世界のハイブリッド」をテーマに掲げ、これまでにない斬新な試みを取り入れた式典となりました。幕開けは、荘厳な琉球舞踊「かぎやで風」の披露で、会場は一気に華やかな雰囲気になりました。そして、緞帳（どんちょう）が上がると、角帽に卒業ガウンをまとった8名の卒業生が堂々と入場し、式典は厳粛なムードの中、幕を開けました。

式典では、卒業生が舞台上に着席し、保護者や来賓の方々の温かい眼差しに見守られながら、プログラムが進行しました。外務省沖縄事務所の宮川学沖縄担当大使からは、「異文化に身を置くことで考え方は大きく変わる」、「最も大切なことは自分自身を信じ、人と真摯に向き合うことである」といった心に響く祝辞を賜り、卒業生にとって大きな励みとなりました。

今年度の表彰では、学業やボランティア活動など、あらゆる面で他の塾生の模範となった小林快都さんが最優秀賞を、優秀な成績を収めた奥間美月さんが優秀賞を、そして、又吉乙緒梨さんが精勤賞をそれぞれ受賞し、日頃の努力が称えられました。

また、卒業生の2年間の塾生活を振り返る思い出のビデオが上映され、会場は感動に包まれました。ビデオの後半では、お世話になった講師一人ひとりへの感謝のメッセージが映し出され、会場にいた講師陣の目には、思わず涙が浮かびました。

式典のクライマックスでは、浦崎塾長による卒業宣言の後、卒業生8名が未来への希望を胸に角帽を天高く投げ上げ、感動的なフィナーレを迎えました。参列者からの温かい手拍子に包まれながら卒業生たちは退場し、それぞれの新たな旅立ちへと力強く歩みを進めました。



情報発信！わくどきなかがみポータルサイトの開設

学校と地域、手をつないで、子どもたちの未来をはぐくむ、『わくどきなかがみポータルサイト』が、2月7日にオープンしました。（サイトの運営：沖縄県教育庁中頭教育事務所）

わくどきなかがみポータルサイトとは

このサイトを訪れた方々が、わくわくどきどきするような、中頭管内10市町村の教育委員会、そして小中学校が実践している様々な取組についての情報を発信しているサイトへの入口になります。このサイトは、①学校向け（教員のみ閲覧可）と、②地域向けの2種類のページがあります。保護者や地域の方々については、②地域向けページをご覧ください。



【ポータルサイトURL】 <https://sites.google.com/view/wakudoki-nakagami>